



神奈川の風



平成28年9月15日号

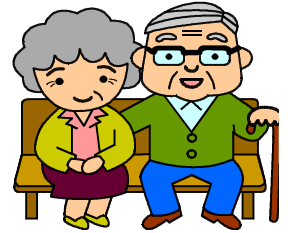
校長 吉江 明洋

< 敬老の日 >

9月19日(月)は「敬老の日」。「社会のためにつくしてきた高齢者を敬うやまい、長寿を祝うとともに感謝の気持ちを表す」ため、1966年(昭和41年)に国民の祝日となりました。

2002年(平成14年)までは9月15日でしたが、ハッピーマンデー制度により2003年(平成15年)からは9月の第3月曜日となりました。

日本は65歳以上が総人口の約27%となり、80歳以上の人口が1,000万人を超えて男女平均寿命が世界一。常に高齢者や年長者を敬う気持ちを忘れない国であってほしいと思います。



< 体育祭 一生懸命の姿が一番美しい >

定期テストも終わり、答案用紙が返されていると思いますが、結果は満足がいくものだったでしょうか。しっかりと学習の取組を振り返り、これからの授業と家庭学習に活かしてほしいと願っています。



さて、9月24日(土)は第67回となる体育祭。不安定な天候が続く、長期予報が気になるころですが、学年練習も始まり、連休明けの20日(火)には予行が行われます。練習の様子を見ていると、今年の体育祭は昨年以上の盛り上がり期待されて当日が楽しみになります。

毎年、繰り返して載せていますが、個々に得手不得手えてふえてがあり、体育活動が苦手な人もいます。しかし、大事なことは、全員でいかに真剣に取り組むかなのです。これは、勉強でも遊びでも同じことがいえます。仲間の中に気を抜いている者がいると、楽しい遊びも白けてしまい、つまらないものになってしまいます。照れくささや苦手なものを隠すために、ふざけ半分でごまかそうとする姿は醜みにくいものですし、全体の雰囲気壊すだけです。

下手でもいい、失敗してもいい、心を一つにして一生懸命にやる姿こそが美しく、見ている者の感動を呼ぶのです。気を抜いていいかげんにやっても、何も得るものはありません。真剣に精一杯やってこそ、本当の楽しさが体感できるのです。

リオ五輪に出場した選手が「試合を楽しみたい」と発言するのを多く耳にしました。表面的に受け取ってしまうと、不謹慎ふきんしんにすら思ってしまう言葉ですが、それまでの練習の真剣さや、苦勞を乗り越えてきたからこそその自信の表れであると思います。ただ面白おかしく楽しむのとは訳が違う、とても意味の深い思いが込められているはずで。

3年生は最後の体育祭です。学校のリーダーとして、「神奈川中の3年生はこうあるべき」と、3年生全員の心意気を観客や下級生に示してほしいと願っています。そして、その姿を見た下級生が、「私たちも来年は…」と、思わせることが伝統を引き継ぐ者の役割であると私は思います。

全校生徒一丸となり、観客の方々と一体となった、真に楽しめる体育祭を期待しています。